

第12回大黒屋現代アート公募展 作品募集

板室温泉大黒屋では、2016年10月1日より第12回大黒屋現代アート公募展の募集を開始いたします。大黒屋現代アート公募展は2006年より世界を目指す新進アーティストの発掘を目指し毎年開催しております。

弊社は1551年創業の温泉旅館であり、1980年代後半より菅木志雄などアーティストの感性を旅館経営に取り入れ、保養とアートの宿という場を作ってきました。その場づくりの一環として、大黒屋の5つの庭を手がけた菅木志雄のように時代の感性と表現をもって世界に挑戦する作家を応援しています。本公募展は絵画・立体など表現方法を問わず（映像は除く）幅広く表現を試みるアーティストを募集してきました。入選者には平面・立体・写真・工芸（木・ガラスなど）等多彩な作家が選出されています。入選してきた多くのアーティストが国内外での個展やグループ展などを経験し、現代アートの舞台で精力的に活動していることは喜ばしいことだと感じています。

本公募展の特徴の1つは授賞式、懇親会等において宿に1泊する過程で菅木志雄、小山登美夫、天野太郎3名の審査員及び弊社代表と密にコミュニケーションができる場が設けられていることが、その後の縁にもつながっています。また大賞受賞作家には1年半の準備期間を経ての個展開催、また期間中の滞在制作など、長期的な視野を持って制作活動を支援することを目指しています。

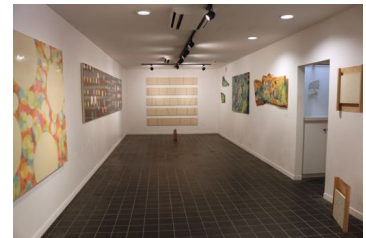
今年は12回目を迎えてより多くの意欲と才能あるアーティストからの応募を期待するとともに、芸術文化に一層貢献していくことを目指します。

● 趣旨

当賞は次代のアートを担う作家の発掘を目的とし、公募制により広く才能あるアーティストを募集します。表現方法は問わず、美術館や画廊とは一線を画した「温泉旅館」という場で生き、また時代感覚を優れて反映し世界に発信する意欲ある作家を奨励します。

■ 板室温泉大黒屋

栃木県那須塩原市の国民保養温泉地板室温泉に 1551 年創業。1980 年代後半より現代美術を取り入れた経営を行い、2005 年企業メセナ協議会より「アートスタイル経営賞」受賞。1991 年菅木志雄に庭「天の点景」を依頼。その後 2011 年までに菅による 5 つの庭が完成。2008 年に「菅木志雄 倉庫美術館」開館。現在は年 12 回の現代美術や工芸、陶芸分野の作家の展示を行うほか、若手作家の支援も精力的に取り組み、公募展の開催や入選者の展示の主催、2016 年春に若手の支援作家の常設ギャラリーをオープンした。



北の館 支援ギャラリー

● 審査員



菅 木志雄 (アーティスト)

1968 年の初個展から「もの派」を代表する作家として高い評価を受ける。横浜美術館、岩手県立美術館などの個展を経て 2015 年ヴァンジ彫刻庭園美術館、東京都現代美術館で大回顧展を開催。近年国際的な評価もますます高まり、「REQUIEM FOR THE SUN」(BLUM & POE ロサンゼルス, 2012) など海外での展示も多数。2016 年ミラノ、ニューヨークで個展を開催。



小山 登美夫 (小山登美夫ギャラリー代表)

1996 年に小山登美夫ギャラリーを開廊。日本のアーティストを世界に発信するべく、日本の現代美術シーンを牽引するギャラリストとして国際的に活躍。2016 年六本木に新スペースをオープン。著書「何もしないプロデュース術」(東洋経済新報社)「お金からみる現代アート」(講談社)ほか多数



天野 太郎 (横浜市民ギャラリーあざみ野 主席学芸員)

87 年より横浜美術館で勤務。「奈良美智 I DON' T MIND, IF YOU FORGET ME」(2001)、「アイドル!」(2006) など多くの展示に携わり、2005、2011、2015 年に横浜トリエンナーレのキュレーターを務めた。2015 年より現職、若手アーティストの発掘にも精力的に活動中。多摩美術大学、女子美術大学、国士館大学、城西国際大学非常勤講師。



● 募集要項・審査日程

- 応募期間 2016年10月1日(土) - 2016年11月20日(日) 当日消印有効
- 出品規格 平面・立体問わず。映像作品は対象外。1名1点限り。
過去に公募展等で出品されたものでも可
 - ・A: 平面 100 × 100 cm以内 (S40号以内) 厚み 15 cm 重さ 10kg まで。
 - ・B: 立体 90cm × 90cm × 高さ 180cm 以内、重さ 20kg 以下 (壁掛け 10kg)
- 選考方法 第1次選考 書類審査 (写真審査) 2016年12月頃
第2次選考 作品審査 (実物審査) 2017年2月上旬頃

● 賞

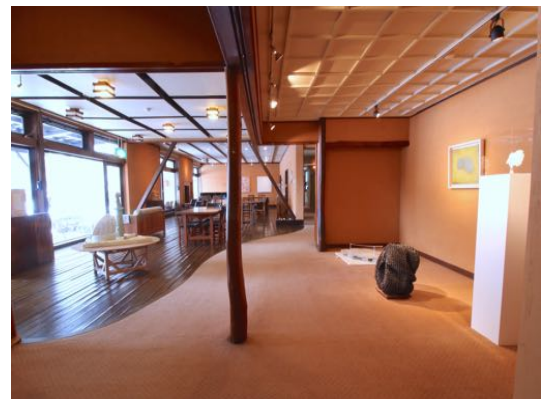
- 大賞 1名 賞金 30万円
副賞: 大黒屋での個展
(2018年秋、会場費・広報費含む)
- 入選 20名前後
会期中2名1泊の大黒屋宿泊券



副賞例: 第5回公募展大賞 受賞者展「山本雄基」展

● 第12回現代アート公募展

- 会期 2017年3月1日(水) - 3月30日(木)
- 会場 板室温泉大黒屋サロン
入場無料・会期中無休
- 授賞式 会期中中旬、授賞式後に会食懇親会



第11回現代アート公募展 展示風景



第11回授賞式



懇親会でのディスカッション

● 第11回（2016）受賞作品



○ 大賞 「rolling field」 對木裕里



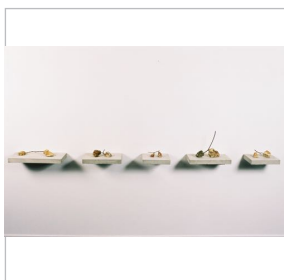
○ 入選（抜粋）

「1945-2015」 塩野太郎（右）

「2と6のための装い」 石川かすみ（左上）

「Overlap」 谷正也（右上）

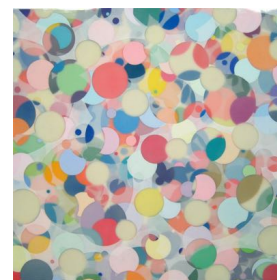
● 過去大賞受賞者



■ 第4回大賞受賞 鈴木孝幸

「place/thicket」

愛知県出身。訪れた土地との関係を持つ作品から「中之条ビエンナーレ」（2009,2011,2013）や香川県、神奈川県、山形県など全国的に活動。2016年9月に菅木志雄らとのグループ展「創造の場所—もの派から現代へ」に出展。



■ 第5回大賞受賞 山本雄基

「曖昧のあわ、みえ得るところ」

北海道出身、2012-2013年に札幌市の助成を受けベルリン滞在。国内の個展のほかドイツでの個展、アートフェア東京やART TAIPEI 出品など国際的に活動。「VOCA展 2014」など出展歴、受賞歴多数。

● お問い合わせ

公募展担当：坂口鶴樹、八木良美

TEL 0287-69-0226

FAX 0287-69-0497

E-mail koboten@itamuro-daikokuya.com

応募方法・募集要項ダウンロード及び最新情報は公式ページをご覧ください

大黒屋現代アート公募展公式 web

<http://www.itamuro-daikokuya.com/art/contribution/>

blog

itamuro-daikokuya.blogspot.jp

Facebook

www.facebook.com/itamuro.onsen.daikokuya